


発行：社会福祉法人 くまもと障害者労働センター 〒861-8039 熊本市東区長嶺南 1-5-4 0
TEL: 096-382-0861 FAX: 096-285-7755 <http://1985orange.com>

1660のあたり

～「やっぱり…」を「やっぱり↑↑↑」に～



 日産 DAYZ、(通称：IGGO (イッゴー))

おれんじ村に新しいなかまが増えた。
日産 DAYZ (通称：IGGO (イッゴー))。

IGGO は、
おれんじ村を長年応援し続けてくれ、
おれんじ村史上初(?)の
『おれんじ村名誉村民』として表彰された
一甲さんからのおれんじ村へのプレゼント。


先日、卒寿のお祝いを機に免許返納をされ、
愛用されていた IGGO はおれんじ村にやって
きた。

一甲さんとおれんじ村の付き合いは長く、
おれんじ村の10周年記念として発刊された
『しょうがいしゃ宣言』。
そこに、一甲さんの話が収録されている。

僕は、一甲さんから『やっぱり、しょうがい
しゃ…。』『やっぱり、…。』という言葉の中に
ある自分の差別心に気づかせてもらった。

少しだけ、『しょうがいしゃ宣言』の内容を
紹介させてもらうと。



 卒寿のお祝いの一甲さん専用マグカップで
絵手紙教室の後の、ティータイム。

～みんなが卒寿のお祝いをしました～



障害のあるこども、障害のないこどもたちと一甲先生の実践が描かれている。

こどもたち同士、そして先生がぶつかり合いながら、『やっぱり、…』という言葉を見事に突破していく。

こどもたちの障害があろうとなかろうと、対等と同じ人間としてぶつかり合い成長をしていく姿に、一甲先生の不安戸惑い、そして価値観がゆさぶられていく。一甲先生の変わっていく姿に自分自身が重なる。

僕の中の『やっぱり、…』にある思い込み、決めつけ、差別、偏見に気づかされる。

思い込み、決めつけ、差別、偏見はどうやって生み出されたのか？

きっと僕が普通の生活で自ら生み出している。そんな僕みたいな人が世の中にたくさんいて、社会として生み出し続けている。

一甲さんから教わったことは、

- ・『やっぱり、…』は変えることができること。
- ・『知らない、わからない。』ではなく、『特別な出会い。』でもない。普段の何気ない出会いが大切なこと。

そんなことを気づかせてくれる人たちがたくさん集まる『おれんじ村』が、どんなに大切な場所であるか。

IGGO は、僕らの手作りのお弁当をのせて、思い込み、決めつけ、差別、偏見にまみれた社会を『やっぱり、…』を『やっぱり、グググ』のわだちにかえ、今日も颯爽と走り回る。

いけいけ IGGO!!!!



🍷 おれんじ村民からネーム入りマグカップをプレゼントしました。

編集後記

こんにちは。おれんじ村の一番のよき理解者一甲先生が今年4月で90歳になられ、サプライズとしてみんなで一緒に卒寿のお祝いをしました。一甲先生が免許を返上するとの事だったので、お車をおれんじ村に頂きまして。一甲先生は、障害のあるひとにも障害のない人も、対等な関係で接しておられていて、すごい人だと尊敬をしています。

一甲先生には今でも大変お世話になってます。毎月2回おれんじかふえで絵手紙教室を開催してもらっています。今後も元気でおれんじ村を支えて頂きたいと思っています。

梅雨もあがり、だんだん暑くなりますが、今年のは、エコネットみなまの人気の商品塩サイダーと甘夏サイダーが入っています。今年もおれんじ村の夏ギフトのご注文をお待ちいたしております。

IT部 E